

—入会手続きのご案内—

入会申込書に必要事項をご記入の上、ご返送下さい。

- ①入会申込書冒頭の正会員・学生会員または購読会員のいずれかを選んで○で囲んで下さい。正会員・学生会員として入会の方は、入会申込書の全項目①～⑥の記入が必要です。学生会員には選挙権・被選挙権はありません。購読会員の方は、個人の場合は①～③、機関の場合は、①、②を記入してください。
- ②勤務先の項では、所属、部、科名を具体的に記入してください。職務内容は具体的に、たとえば医師、歯科医師、看護師、言語聴覚士、医療技術者(理学療法士、作業療法士)、教師、研究員、などと記入してください。
- ③学歴、研修歴の養成所、研修等の項では、本学会に關係のある養成所研修機関等(6カ月以下のものは除く)を記入してください。
- ④専門領域大項目では該当するものに○印をつけて下さい。複数にわたるときは、主たるものに一つ○をつけてください。小項目は、具体的な科目又は、名称、例えば耳鼻咽喉科学、歯科口腔外科学、言語聴覚障害学、理工学、言語学、音声学、音楽等と記入してください。複数にわたるときは、主たるものに一つ○印をつけてください。
- ⑤会誌送付先の希望に○印をつけて下さい。
- ⑥推薦者は本学会の名誉会員、顧問、参与、理事、評議員、監事、会長、次期会長のうちから一名をお願いします。署名、捺印も必要です。正会員、学生会員、購読会員とも、担当理事の承認後、入会決定通知をさしあげます。その際、振替用紙を同封致しますので受領後2週間以内に会費をお納め下さい。

推薦者を見つけれない方は事務局にご相談下さい。
入会希望者の状況に応じて対応いたします。

◆会費：

- ◇入会金(正会員・学生会員のみ) 3,000円
- ◇年会費 10,000円
- ◇学生会員(要証明書) 6,000円
(会費納入時に学生であることが必要です。)

したがって初年度会費は、

- ◇正会員 13,000円
- ◇学生会員 9,000円
- ◇購読会員 10,000円



お問い合わせ、入会申込書の郵送先

日本音声言語医学会事務局

〒112-0004

東京都文京区後楽2-3-10 白王ビル5F

Tel: 03-5684-5958 (月・水・金9:00-17:00)

Fax: 03-5684-5954

Email: onsei@jslp.org

URL: <http://www.jslp.org/>



入会申込書は下記からダウンロード可能です。

<http://www.jslp.org/form.pdf>

日本音声言語医学会

The Japan Society of
Logopedics and Phoniatrics

入会のご案内



理事長挨拶



大森 孝一
(日本音声言語医学会理事長)

日本音声言語医学会は音声、言語を中心に、これらに密接に関連する高次脳機能、嚥下、聴覚、発達など幅広い領域を取り扱っています。超高齢化社会を迎えて、生活の質を保ったままの健康長寿が求められており、コミュニケーション医学を扱う本学会の重要性が増しています。

1956年(昭和31年)に設立された当初の会員数は62名でしたが、現在は約1,700名となり、医師、言語聴覚士、教育者、研究者など多職種の方が活動しています。医学誌を年に4冊発行し、質の高い研究成果を掲載しています。学術講演会では最新の情報を得ることができ、職種の垣根を超えて自由な雰囲気での議論が行われています。広く皆さんに役立つ学術書やDVDを出版しており、若手会員への研究助成制度も充実しています。これからも力を結集して魅力ある学会に進化していきたいと思っております。

是非、会員になって学会をどしどし活用して下さい。皆さん、仲間になってみませんか。



本学会は、音声、言語を中心に、これらに密接に関連する幅広い領域の専門家が参加する学際的の団体です。

学会誌「音声言語医学」をはじめとする出版、総会、講演会の開催など、充実した学術活動を行っています。学会誌掲載の論文はインターネット上に公開されています。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjlp/-char/ja>



音声言語医学の分野で創造性に富み、有益な研究テーマに対しその研究を支援するために研究費の助成を行っています。



定例の総会・学術講演会では、一般演題のほかに、特別講演、シンポジウム、パネル、教育セミナー、市民講座、ポストコンgressセミナーなど、研究者、臨床家、若手、学生、一般市民へのさまざまな企画が用意されています。

2018年学術講演会の発表カテゴリー

音声 基礎	補聴器・人工内耳	嚥下障害 治療
音声障害 評価・診断	言語 基礎	構音障害
音声障害 治療	言語障害 (失語・高次脳機能障害、言語発達障害等)	発話障害 (吃音、発語失行等)
聴覚 基礎	嚥下 基礎	リハビリテーション
聴覚障害	嚥下障害 評価・診断	社会福祉 (社会保障、医療福祉教育等)



ワールドボイスデー
4月16日は「国際声の日」



声を守るポイント
声の出し方、量、時間、場所、環境
声がかれ、長引いたら
早めに耳鼻咽喉科を受診しましょう
声のかれや長引くのは必ずしも
声帯の病気や声帯炎によるものとは限りません
アトピーやアレルギーの発症や悪化の原因になることがあります
タバコはのどのがんになる危険性を高めます

国際音声言語医学会
(International Association of Logopedics and Phoniatrics)
の関連団体として、学術研究活動のみならず、世界の健康啓発活動に貢献しています。